

公益社団法人 日本青年会議所 四国地区 徳島ブロック協議会

地域経済再興委員会 委員長 澤田 明宏

現状分析	<p>【③地域経済ビジョンの構築】</p> <p>徳島県は「阿波おどり」や「藍染」などの伝統文化に加えて、ラフティングやウェイクボードの世界選手権が開催された「吉野川」や「鳴門の渦潮」「世界農業遺産」などの豊富な自然環境など、世界に誇れる観光資源を多く有しています。しかし、地域経済を支える代表的な観光資源の阿波踊りも動員人数もここ数年で横ばい・また県内の多くの観光施設も減少傾向になっています。観光産業の不振から交流人口が少なく、地域経済の好循環が作りだせていないのが現状であり、県内外から集客でき、阿波踊りを超える様な観光コンテンツが必要です。</p> <p>2018年度同じ思いで徳島JCが花火競技大会レセプション事業を行い徳島県内の候補地がいくつか手を挙げたのち、美馬市が開催地と選定されました。開催にむけて徳島JC、にし阿波(2市2町 美馬市・つるぎ町・三好市・東みよし町)、徳島県が準備をすすめているが、行政だけで大会を実施運営することは難しいのが現状です。</p>
活動概要	<p>③地域経済ビジョンの構築</p> <p>美馬市と共に花火競技大会開催にむけて徳島ブロック・地域の行政・各種団体と連携し大会の実施組織を立ち上げます。</p> <p>公平性・透明性・安全性を考え、会議体を審査機関・企画運営機関の2つ役割に分けます。</p> <p>2020年以降、徳島県ブロック協議会が組織から離れても継続して事業ができる組織作りをし</p>
S D G s	4・8・11
K P I	実行委員会4回・運営委員会8回
IMPACT (影響力)	共通の目的をもって行政・各種団体と連携・協働することで、各機関の機能や役割など理解が深まり関係の質が向上します。地域にとって今後の様々な活動にも相乗効果が出てきます。また地域での青年会議所の影響力も高まります。
MOTIVATE (意欲)	地域資源のブランディング・マーケティングなど様々なイノベーションに繋がります。
INVEST (投資)	関わる各主体がそれぞれのリソースを使い地域に新たな観光コンテンツを創り出します。
COLLABORATE (協力)	行政・各種団体と連携することで、魅力ある地域資源を創っていきます。
CONNECT (つながり)	飲食・観光・放送・広告など多種多様な企業、一般市民・行政・社会貢献団体が繋がることで地域ネットワークが再構築されます。
政策手法 (ゴールデンサークル)	<p>Why(理由): 一回だけの開催で終わるのではなく、持続可能なイベントを目指すには地域が主体性を持って運営し、市民に理解され協働していかなければ地域に根付くイベントにはならないため。</p> <p>How(手法): にし阿波広域連合(仮名)と協力し、地域の団体などをまとめ審査決定機関と企画運営機関を立ち上げます。美馬市と地域経済再興委員会が会議体の事務局となります。</p> <p>What(行動): 地域経済再興委員会が行政とともに各種団体へ花火競技大会への理解や協力を依頼していきます。また二年目以降徳島ブロックが離れても運営できるよう会議体の運営マニュアルや規則・規定など作成していきます。徳島県ブロック協議会にも協力してもらい県全域の資源を集め地域経済に好循環を生み出すコンテンツを創ります。</p>
パートナー	にし阿波広域連合・徳島県西部総合県民局・美馬警察署・美馬西部消防組合・地元自治会・四国三郎の郷・AMENBO事務局・7LOM会員会議所・商工会・法人会・ロータリークラブ・ライオンズクラブ・そらの郷・美馬観光ビューロ・AWARE・JR四国・観光バス会社・タクシー会社・宿泊施設・建設業協会・自動車振興組合など現在美馬JCと協力体制ができている団体